令和6年度　能美市立宮竹小学校　学校評価

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 重点目標(目さす姿) | 具体的方策 | 主担当 | 【評価指標】〈成果指標〉〈努力指標〉〈満足度指標〉 | 【評価の根拠】達成度判断基準 |
| 1 | 組織的な学校運営（チーム学校の推進） | ①【目標達成に向けた組織力の向上】「プロジェクトＭ」を核にして，目標を共有して連携・協働する。検証・改善の視点を絞ったPDCAサイクルを積み重ね向上に向かう。 | 教務主任 | 【満足度指標】「プロジェクトＭ」を核として焦点化した取組を組織的・計画的に積み上げ児童の変容を実感している。 | 【教職員アンケート】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ・目標達成に向け主体的に協働し，児童の姿の変容から教育的効果や自己の資質能力の向上を実感できた。＜95以上A，94～85B, 84～75C，74以下D＞ |
| ②【安全・安心な学校づくり】ヒヤリハットの発信に心がけ，全職員の危機意識を向上させる。いじめ・不登校を始めとする諸課題の未然防止と早期対応・解決に努める。 | 教頭 | 【努力指標】全職員が「いじめ等記録シート」を持ち児童等の情報交流に努めるなど，主体的にヒヤリハットの発信や危機管理「さしすせそ」を実行している。 | 【教職員アンケート】　　　　　　　・全職員が「いじめ等記録シート」を持ち児童等の情報交流に努めるなど，主体的にヒヤリハットの発信や危機管理を実行している。＜95以上A，94～85B, 84～75C，74以下D＞　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| ③【業務改善と働きがいの実感】ねらいの焦点化と協働化を徹底する。学校DXを進め，各会の運営の工夫と業務の平準化を行い，達成感の共有・働きがいを感じる職場づくりを実現する。 | 教頭 | 【努力指標】焦点化された会議の運営の工夫や業務の平準化・協働化の促進によって，達成感及び効率性を感じる業務改善に努めている。 | 【教職員アンケート】　　　　　　　　　　　　　　・焦点化された会議の運営の工夫や業務の平準化・協働化の促進によって，達成感及び効率性を感じる業務改善に努力した。＜95以上A，94～80B, 79～71C，70以下D＞ |
| 2 | 知（主体的・協働的で深い学び→確かな学力を育む） | ①【授業改善】「個別最適」で「協働的」な学びの一体的な充実による3つの学力（学びの自己調整力）の向上をめざす。 | 研究主任 | 【成果指標】単元構想含む研究授業（全体・部会）を一人1回以上行う。また，国語算数学期末まとめテストの平均85以上 | 【授業公開と学期末まとめテスト】　　　　　　　　　　　・国語算数学期末まとめテストの平均85点以上＜90点以上A，89～80B, 79～71C，70以下D＞ |
| ②【基礎基本の定着】朝学習―フォローアップタイム―家庭学習の充実について組織的に「学びの連続性」を図り，児童の学力向上を実現する。 | 教務・研究 | 【成果目標】朝―授業―放課後の学習の充実を定期的に点検・改善し，児童のinput-outputの力を向上させている。 漢字・計算テスト平均85以上 | 【基礎基本定着検証テスト】・漢字・計算テスト平均80点以上＜90点以上A，89～80B, 79～71C，70以下D> |
| ③【読書活動の推進】学校や家庭での読書推活動を推進し，読書の量や質の向上を目指す。 | 図書担当司書 | 【成果目標】「10冊チャレンジ」「分類チャレンジ」等，学年に応じた年間の取組において学期に３冊以上読書をしている。  | 【取組の達成率】・学期に３冊以上読んでいる児童の割合＜90以上A，89～75B、74～70C，69以下D＞ |
| 3 | 徳（信・任・認による豊かな人間性の育成） | ①【魅力ある学校づくり】あらゆる教育活動において「生徒指導の４つの視点」を意識し，児童の達成感と意欲につなげ「信・任・認による魅力ある学校」を創る。 | 生徒指導プロジェクトM | 【満足度指標】「魅力ある学校づくり」アンケートをもとにしてPDCAを実働化し，児童のA評価が増える。 | 【教職員アンケート】・児童アンケートA分析のPDCAを通して「信・任・認による子どもが主役」の学校づくりに参画している。＜95以上A，94～85B, 84～75C，74以下D＞【児童「魅力ある学校づくりアンケート」】・A評価が4項目とも4割超える。または増加している。＜95以上A，94～85B, 84～75C，74以下D＞ |
| ②【PDCAが実働化する集団づくり】　縦割り学習活動等について目標を明確に共有し「信・任・認」を効果的に実施し，主体性・協働性の育成や自治的精神の礎を積み重ねる。 | 児童会・担任 | 【満足度指標】　縦割り学習活動等を通して，「信・任・認」を効果的に実施し自己有用感や共感的人間関係，自治的精神を積み重ねる。 | 【児童アンケート】・縦割り学習や活動を通して，仲良しが増え学校が良くなっていると感じる。　＜95以上A，94～80B, 79～71C，70以下D＞ |
| ③【「ダイバシティ教育」の充実】道徳教育を始め,SDGs教育やキャリア教育等を通して，ダイバシティ教育の実現を目指す。 | キャリア教育担当 | 【成果指標】年間学習計画における位置づけや日々の指導支援により，児童の意識の変容を図っている。 | 【児童アンケート】・「（自分・クラスは，先生は）分け隔てなく・お互いのよさを認め合うことができている」　＜95以上A，94～80B, 79～71C，70以下D＞ |
| 4 | 体（生活習慣の自律の→心身の健康を育む） | ①【体力向上】１校１プランに則り，「握力」「自発的協働性」を重点とする。児童一人一人に目標を持たせ計画的に取り組ませる。実感を伴う体力の向上に努める。 | 保健主事・体育担当 | 【成果指標】個々がめあてを意識し，継続的に「握力」「協働性」（スポチャレ）向上に取り組み，記録を向上している。 | 【児童アンケート】・「体力を高めるために、一生懸命に運動することができた」＜95以上A，94～80B, 79～71C，70以下D＞ |
| ②【心身の健康力の向上】心の健康を保つために、心の健康予防教育を中心に取組を推進する。 | 保健主事・養護教諭 | 【成果指標】心の健康予防プログラムの授業を中心に、心の健康に対する児童の意識の変容を図っている。 | 【プログラム前後の児童アンケート】・「授業などの取組を通して、学んだことを理解している」（各学年ごとに内容に沿ったアンケート項目）＜95以上A，94～80B, 79～71C，70以下D＞　 　　　　 |
| 5 | （チーム学校の輪の拡充）家庭・地域との連携 | ①【開かれた学校づくり】「学校運営協議会」を活用し，「ふるさとSDGs学習」をはじめ，学校・家庭・地域が協働して「みやつこ」の実現につながる取組を推進する。 | 教頭 | 【満足度指標】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　学校運営協議会等を活用し，学校・家庭・地域が協働して「みやつこ」の実現につながる教育活動を実施し，地域の良さを実感している。 | 【教・児・保アンケート】　　　　　　　　　　　 　　・学校運営協議会等を活用し，「みやつこ」の実現につながる教育活動を充実し，「ふるさとのよさ」を実感している。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　<95以上A，94～85B, 84～75C，74以下D> |
| ②【特別支援・多様性理解の充実】特別支援をはじめとする「多様性の理解」や各種機関との連携協働をすすめ，個や保護者に寄り添いより良い成長につながるよう努める。 | 特支コー | 【努力指標】特別支援を中心に多様性の理解や，個や保護者に寄り添いより良い成長につなげるための各種機関との連携協働に努める。　　　　 | 【教アンケート】　・特別支援を中心に，個や保護者に寄り添いより良い成長につなげるための各種機関との連携協働に努め効果を感じている。　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　＜95以上A，94～80B, 79～71C，70以下D＞ |

・ICTを織り込んだ能動的な学びの充実による学力の向上

**「全ての児童を全ての職員で見守り育てる」**

**「誰一人とり残さない宮竹小」**

・明確なねらいを共有した学習活動での「信･任・認」によるPDCA実働の積み上げ効果の実感

・認め合い、深め合い、高め合うダイバシティ教育の実現による豊かな人間性の育成

・「ヒヤリハット」や「報･連･相」が日常化された抱え込みのない，「対話」を大切にする活気と笑顔に満ちた「学校風土」づくり

・焦点化した取組の共通実践の徹底と「チーム学校の輪の拡充」により、「しん化」させる能動的でスピード感のある心豊かな組織をめざす。